

高校生防災スクール～各校の取組を紹介～

平成28年度版



高めよう！防災意識
強めよう！地域の絆



目次

特集!!

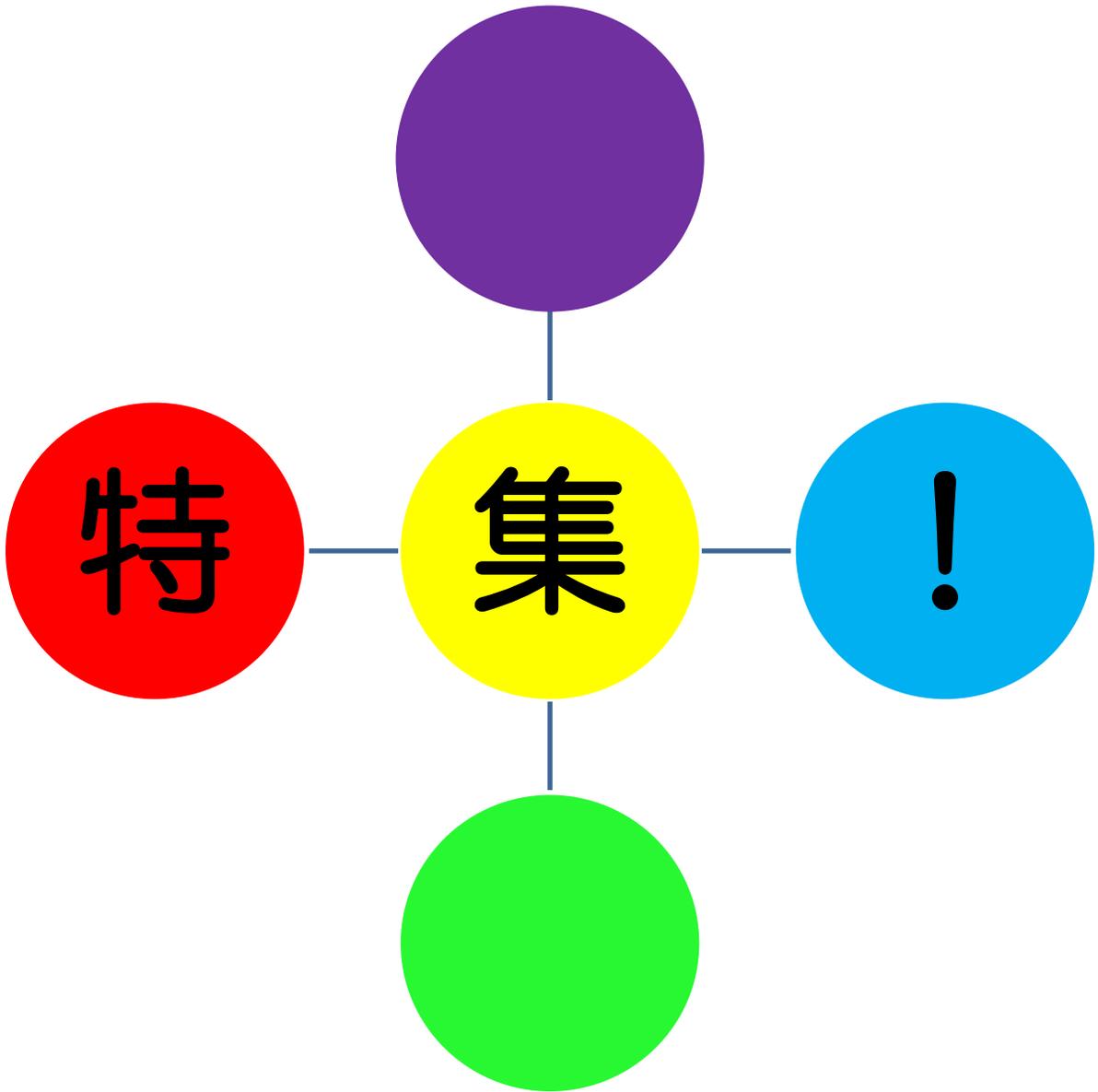
貴志川高等学校	1
耐久高等学校 全日制	4

各校の取組

橋本高等学校・古佐田丘中学校	7
紀北工業高等学校	8
伊都高等学校・伊都中央高等学校 定時制	9
紀北農芸高等学校	10
笠田高等学校	11
粉河高等学校 全日制	12
粉河高等学校 定時制	13
那賀高等学校	14
和歌山北高等学校 北校舎	15
和歌山北高等学校 西校舎・和歌山さくら支援学校	16
和歌山高等学校	17
向陽高等学校・向陽中学校	18
桐蔭高等学校・桐蔭中学校	19
和歌山東高等学校	20
星林高等学校	21
和歌山工業高等学校 全日制	22
和歌山工業高等学校 定時制	23
和歌山商業高等学校	24
海南高等学校 全日制	25
海南高等学校 定時制	26
海南高等学校 大成校舎	27
海南高等学校 美里分校	28
箕島高等学校	29
有田中央高等学校	30
有田中央高等学校 清水分校	31

目次

耐久高等学校 定時制	3 2
日高高等学校 全日制・附属中学校	3 3
日高高等学校 定時制	3 4
日高高等学校 中津分校	3 5
紀央館高等学校	3 6
南部高等学校	3 7
南部高等学校 龍神分校	3 8
田辺高等学校・田辺中学校	3 9
田辺工業高等学校	4 0
神島高等学校	4 1
熊野高等学校	4 2
串本古座高等学校 串本校舎	4 3
串本古座高等学校 古座校舎	4 4
新宮高等学校 全日制	4 5
新宮高等学校 定時制	4 6
新翔高等学校・みくまの支援学校	4 7
紀の川高等学校	4 8
きのくに青雲高等学校	4 9
南紀高等学校	5 0
紀伊コスモス支援学校	5 1
紀北支援学校	5 2
たちばな支援学校	5 3
みはま支援学校	5 4





貴志川高等学校

地域との連携会議！！ 地域住民との防災訓練！！

●開催日

平成28年11月1日（火）、11月2日（水）

●参加者

680人
（生徒545人、教職員65人、地域住民等70人）

●実施内容

- (1) 避難訓練
- (2) 起震車
- (3) DVD学習
- (4) 炊き出し・配膳訓練
- (5) 簡易トイレ組立訓練
- (6) 足湯設置及び介添え訓練
- (7) パーティション組立・撤収体験
- (8) リアル避難所運営ゲーム（HUG）

●取組を終えて

今回の「高校生防災スクール」については、高校生主体で計画・立案し、紀の川市社会福祉協議会・自治会・老人会・防災福祉ボランティア会・貴志川日赤奉仕団等の協力をいただきながら、連携を図って、「リアル避難所運営ゲーム（HUG）」をはじめ、さまざまな実技体験訓練を通して、実際の場面における課題等も見えて、次回の訓練に対する教訓も学べた。また、昨年度以上に地域との連携枠を拡大した訓練となり、成功裏に終わった。

●参加者感想

震度7の地震がきたら、大変なことになると思った。

アルファ化米のドライカレーはおいしかった。貴志川日赤奉仕団の方々と一緒に炊き出し訓練をして、楽しかった。

事前の準備も大変だったけど、訓練本番当日も予期せぬことがあり、避難所の受付作業が一度に集中して、運営はしんどかったです。でも、いい経験になりました。

〔地域住民の声〕

高校生と一緒に防災訓練をすると、自分たちだけでやるのとは違った新たな発見があった。今後も、高校と関わりを持っていきたい。



簡易トイレ組立訓練



足湯設置及び介添え訓練



リアル避難所運営ゲーム (HUG)



炊き出し・配膳訓練



地震体験

11月10日付わかやま新報掲載

防災の意識新たに

貴志川高校で防災スクール



初めて設置した足湯

県立貴志川高校（紀の川市貴志川町長原、揚村典生校長）でこのほど、本年度の高校生防災スクールが2日間にわたって行われた。生徒は避難訓練や簡易トイレの組み立てなどに取り組み、防災に対する意識を新たにした。

同校では毎年、災害訓練を実施。昨年から、生徒が主体となって内容を企画している。ことしも生徒会やJRC部（青少年赤十字）が中心となり、訓練内容を計画。貴志川福祉防災ボランティア会や貴志川赤十字奉仕団、那賀消防組合南消防署の指導を受

けた。訓練にあたり、初日は、被災時に備えて足湯を初めて設置。4度のお湯を

容器の中のために、避難者として参加した地域の老人会が足を浸げた。生徒は肩を揉んだり、タオルを用意するなど、利用者者がリラックスできるよう臨んでいた。また、簡易トイレの組み立て訓練も行

い、福祉防災ボランティア会のメンバーが組み立て方を指導。米の炊き出し訓練や避難訓練も行われた。2日目は、リアルHUG訓練を実施。HUGとは、災害発生時に地域住民と連

携してどのように動くかを想定し、避難所運営を疑似体験できるゲームで、今回は仮想避難者を生徒が担当した。さまざまに指令に対応し、避難所を運営していた。生徒会長の坂本翔

哉さん（17）は「足湯訓練では、利用者の笑顔が見られてよかった」とし、副会長の中北深夏さん（17）は「まだ不安はあるが、実際に災害が発生した時にこの経験を生かしたい」と話していた。